

福島県立磐城高等学校において出張講義を行いました（2022/10/6）

テーマ：災害と都市・建築デザイン, 東日本大震災からの復興
場所：福島県立磐城高等学校

当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）が、福島県立磐城高等学校において令和4年度「東北大学出前講義」を行いました。

このプログラムは、同校の2年生を対象に、総合的な探求を目的として毎年実施されています。村尾教授は兼務している、建築・社会環境工学科の立場から講義を行いました。

「都市デザインと建築：空間をつくるということ」と題し、空間とは何なのか、人間社会において街を守ることの重要性、東日本大震災からの復興を踏まえた災害と都市・建築デザインについて話しました。とくに東日本大震災からの復興については、いわき市薄磯地区の被災と復興状況についても触れ、震災から11年以上が経過した被災地での過疎化の問題や今後の持続的な街づくりの必要性について語りました。最後に、福島で育った磐城高校の生徒に対して、将来に対する期待についてもエールを送りました。

約40名の生徒が参加し、いつもより長い講義時間にも関わらず、熱心に聴講してくれました。講義後の感想の中には「新たな発見や気づきがあり興味深かった」という内容が多く見られ、社会的にも関心が高まる都市防災について知見を広げることにより、進路探求の一助となることを願っています。また、これからも高大連携による組織的な対応を通じて、キャリア教育に貢献する所存です。

